

5) 初回治療の方法

胃、大腸などの消化管、乳房、子宮では、手術などの外科的治療の割合が高い。初回治療の方法は、複数回答のため外科的治療、放射線療法、化学・免疫・内分泌療法を組み合わせていることが考えられる。届出患者のみの集計のため偏りを否定できないが、初回治療の部位別の傾向が観察される。

乳がんでは「外科・体腔鏡・内視鏡的治療」の割合とともに「化学・免疫・内分泌療法」の割合も高く、両者の併用療法が広く普及していることが明らかであった。

*表6-A参照

初回治療の方法(%)

